

【世界農業遺産】GIAHS スタディーツアー2018



高千穂町立宿の頭首工を見学（山腹水路）



世界農業遺産についての説明（天岩戸神社齋館）



桁又の棚田を見学する参加者



山腹水路の歴史について
学びました

7月22日（日）～24日（火）に、世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域活性化協議会が主催する「GIAHSスタディーツアー」が開催され、高千穂高等学校や五ヶ瀬中等教育学校の12名の生徒と、ハーバード大学やイェール大学といった海外大学に留学する日本人学生8名が参加しました。

参加者は、五ヶ瀬町の宮崎茶房で釜炒り茶の手炒り体験と茶畑の見学を行ったほか、高千穂町では桁又の棚田や山腹用水路、立宿の頭首工を見学した後、神楽の館で地元神楽保存会の神楽を觀賞、かつぼ鶏の調理も体験しました。

ツアーでは、地元の方の講話やディスカッションの時間を通じて、世界農業遺産の認定に至った経緯について理解を深めるとともに、この地域が直面する課題や解決の方策について意見交換を行いました。

【農政水産課】

高千穂高校生が西臼杵支庁でインターンシップ



7月2日（月）と4日（水）に、高千穂高等学校の生徒が、西臼杵支庁でインターンシップを行いました。3日（火）は台風接近に伴い、残念ながら中止となりましたが、行政職を目指す3名と、林業職を目指す3名の合計6名が、現場の様子を見学したり、職員からの説明を受けたりすることで、公務員の仕事について理解を深めました。

林業職を目指す3名は、YAMASHI（若手林業家グループ）を中心に考案された、より林業の魅力が伝わりやすいプログラム（コンテナ苗生産・シカ被害地調査・製材工場での作業体験等）に実際に参加してもらいました。将来の職業を見据えていることもあり、積極的に質問するなど、高校生にとって今後の進路を考える上で有意義な体験になりました。



青少年健全育成条例に基づく立入調査

7月17日（火）に、「宮崎県における青少年の健全な育成に関する条例」に基づく立入調査を実施しました。県内一斉に調査を行うのは今年度が初めてです！

庁舎前で出発式を行い、西臼杵支庁福祉課、高千穂警察署及び高千穂町福祉保険課の職員4名が2班に分かれ、雑誌や書籍、ゲームソフト等を置いている店舗及びカラオケボックスなどを対象に、高千穂町及び日之影町内の15店舗を調査しました。

青少年に悪影響を及ぼす有害図書が正しく陳列されているか、深夜（午後11時から午前4時）の18歳未満の入場を規制しているかなどを調査し、各店舗において青少年の健全育成のための取組が確認できました。各店舗の関係者のみなさま、日頃からの取組及び調査への御協力をいただき、ありがとうございました。



平成30年度西臼杵地域懇話会を開催

7月11日（水）に、西臼杵地域懇話会を開催しました宮崎県農業・農村振興長期計画に基づいた「西臼杵地域ビジョン」について、昨年度の取組実績と今後の計画についての説明を行った後、出席者との意見交換を行いました。

出席者は、管内の代表農家や関係機関をはじめ、支庁及び本庁職員の計32名で、西臼杵地域の課題や対応策などについて、活発な意見交換がなされました。

出された意見は、後継者不足や高齢化などの担い手問題、農業を取り巻く環境設備の老朽化、中山間地域の気候を生かせる品目の検討など様々で、これらの意見を踏まえ、地域ビジョンの実現に向けた取組を進めていきます。



畦畔管理対策研修会を開催

7月18日（水）に、日之影町において、畦畔管理に関する研修会を開催しました。

研修会では、（株）ひのかげアグリファームが所有する機械による除草作業の実演が行われました。参加者はなかなか見ることがない高性能な作業機械の使い方について熱心に説明を聞いていました。

室内では、中山間地域における畦畔管理の現状と管理を省力化するための機械や技術等の紹介がありました。

西臼杵地域の畦畔は、斜面が多く除草作業等への労力負担や危険性が大きくなっています。今後も、作業が省力化され、さらに安全性などを考慮した機械や技術の開発が期待されています。



アナグマ等の被害対策研修会を開催

7月5日（木）に、アナグマ等の被害対策研修会が高千穂町の中川登地区で開催されました。古谷益朗氏（中・小型獣専門家）を講師に招いて、研修が行われました。

現地研修では、アナグマ等に効果がある被害防止柵「楽落くん」の設置方法の説明を受け、実際に参加者が設置を体験しました。生産者の方からは「設置が簡単」「効果があるなら使ってみたい」など前向きな意見を聞くことが出来ました。

室内研修では、アナグマやアライグマなどの中小型獣の生態や対策方法について、講演が行われました。中小型獣の運動能力や被害の特徴、実際に防護柵で獣を撃退した事例等を分かりやすく説明していただきました。

今回の研修会は、中小型獣の生態や対策方法等を知る貴重な機会となりました。引き続き、中小型獣の被害を最小限に食い止めるためにも対策に努めていきます。



ベジ活

宮崎県民は1日約100gの野菜不足です! (県民健康・栄養調査の結果)

野菜を積極的に食べる活動…それが「ベジ活」!



からだを元気にもっと野菜を食べよう!

~1日プラス100g!~



健康のために1日に必要とされる野菜の摂取量は350gといわれていますが、宮崎県民は1日約100gの野菜摂取が不足していると言われていました。

県では、「健康長寿 日本一」を目指しており、その一つとして野菜を積極的に食べる活動「ベジ活」を推進しています。

健康のため、宮崎の太陽をいっぱい浴びた新鮮な野菜をぜひ食卓に!

8月31日は
野菜の日



昨年は、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町の保健師や管理栄養士の方々と、Aコープ高千穂店・日之影店・五ヶ瀬店の各店舗に協力をいただき、のぼり旗を設置して、健康リーフレットや野菜たっぷりのレシピなどを配布しました。今年の8月31日も行いますので、ぜひ、Aコープ各店舗にお越しください! 野菜のとり方のアドバイスも聞けますよ!

お問い合わせは 高千穂保健所健康づくり課 (電話72-2168) まで!

森のかげら活動を展開しています

7月26日(木)と27日(金)に、鞍岡保育園及び五ヶ瀬中央保育園において、町役場と支庁が連携して、木育活動を行いました。

鞍岡保育園の園児6名と五ヶ瀬中央保育園の園児17名に対して、布製絵本「あやちゃんと大きな木のおはなし」の読み聞かせを行った後、木の丸太や葉っぱなどを触ってもらい、その感触を感じてもらいました。

木片を利用してお守りを作る、森のかげらプロジェクトにも取り組み、園児達は、一生懸命に紙やすりで木片を磨きながら、木の表面の感触が変わっていく様子を楽しんでいました。



田んぼの生きもの調査

7月14日(土)に、日之影町の大人地区で「田んぼの生きもの調査」が行われました。NPO法人サン・ヴィレッジが主催し、町内に生息するトンボやおたまじゃくしなどの生きものについて、地元の小学生が調査し、町内の田んぼやその周辺の自然環境がどのような状態にあるのかを学びました。

田んぼに入って調査した地元の小学生は、捕獲した生きものを熱心に観察しました。次回は9月以降に再度調査を行い、生息する生きものにどのような変化があるのかを調べる予定となっています。



◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課 TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

Facebookページ 「ウキウキ!好き好き!ニシウスキ!」更新中!

記事として紹介できるイベントや取組等がありましたら、上記まで御連絡ください!

